



平成25年度 水道事業会計の決算状況

わたしたちの日常生活において、水は欠かせないものであり、水道は生活を支えるライフラインの一つです。
市は、安全で良質な水道水を安定的に供給するため、市民の皆さんからいただく水道料金を主な財源として、水道施設の整備や維持管理などを行っています。



▲市の水源の1つである来馬川

水道事業会計の概要

水道事業は、地方公営企業法に基づき、地方自治体が経営する企業として運営しています。

そして、企業の経営成績、財政状態を明らかにするため、会計制度は企業会計方式を採用しているほか、事業に必要な経費は、経営に伴う収入（水道料金収入）をもって充てるといって独立採算制を原則に経営を行っています。

このため、事業の運営に当たっては、本来の目的である公共の福祉を増進するとともに、常に効率的な事

給水の状況

給水人口	49,823人
給水戸数	22,208戸
年間給水量	4,071,870m ³ (1日1人当たり平均224ℓ)
平均配水量 (1日当たり)	13,112m ³

業運営を図り、企業の経済性を発揮することが求められています。
現在はもちろん、将来に持続可能な水道とするためには、事業運営基盤の強化を図り、安全・安心な給水体制を確保する必要があります。

収入と支出の概要

◎収益的収支

収益的収支とは、水をつくり家庭などにお届けするための費用などの収支を表したものです。

収入合計は、予算の9億1千784万円に対し、決算は9億1千192万円で592万円の減となりました。

また、支出合計は、予算の8億3千175万円に対し、決算は7億9千77万円で4千98万円の減となりました。
この結果、収支決算は、1億2千115万円の黒字となりました。

この黒字額については、国などからの借入金今後の元金償還に備えるため減債積立金に6千115万円、配水管の更新などの施設整備に備えるため建設改良積立金に6千万円を積み立てる予定です。

収益的収支

項目	金額
収益的収入	9億1,192万円
営業収益	9億1,055万円
(うち給水収益)	8億6,583万円
営業外収益	85万円
特別利益	52万円
収益的支出	7億9,077万円
営業費用	6億8,112万円
営業外費用	1億 132万円
特別損失	833万円
純利益	1億2,115万円

◎資本的収支

資本的収支とは、浄水施設や配水池、配水管の整備などに使用するための収支を表したものです。

収入合計は、予算の1億1千190万円に対し、決算は1億778万円で412万円の減となりました。

また、支出合計は、予算の5億708万円に対し、決算は4億9千10万円で1千698万円の減となりました。

この結果、収支決算は、3億8千232万円の不足となりました。

この不足額については、収益的支出のうち現金の支出を必要としない費用の減価償却費など、内部留保している損益勘定留保資金などで補っています。

資本的収支

項目	金額
資本的収入	1億 778万円
企業債	8,760万円
負担金	2,018万円
資本的支出	4億9,010万円
建設改良費	2億2,947万円
企業債償還金	2億6,063万円
不足額	3億8,232万円